

# ソフトウェア工学Ⅰ

2023/05/12

# 要件定義書（要求仕様書）を書こう！

要件定義書（要求仕様書）って？

# ソフトウェアのライフサイクルを

思い出してみよう

# 要求の抽出と要求分析（前回資料より）

今、皆さんがやっている作業は

「顧客の要求の抽出と要求分析」

の作業になります。

顧客がどんなソフトを望んでいるのか  
（どんな困ったことを解決したいのか）

を分析しているところ。

# 要求から要件定義へ（前回資料より）

## 「顧客の要求の分析」

これで、顧客の

- ・何が原因の「困ったこと」があって
- ・システム（ソリューション）がどういうものになれば  
その「困ったこと」解決するのか

を決める

# 顧客の要求から

- どういうソフトを作るのか

どのような機能があり, どのような流れで動くのか  
を示したものが

要件定義書(要求仕様書ともいう)

# 要は

- 作成するソフトはどのようなものなのか
- どのような機能があり
- どのような結果を出力するものなのか

が**すべて**記してある文書

- 顧客のあいまいな要求を明確にして仕様化すべき要求を文書に表すこと
- つまり、「何が必要なのか」を明確にして、文書にする



## (a) 要求分析とは

- どのようなソフトウェアを作るべきかを明確にして、要求仕様を定める工程
- 顧客やユーザの要求の内容を詳細に分析し、過不足なく記述
- 開発側の視点から実現性やコスト、開発期間の妥当性などを検討して仕様書にまとめる
- 要求分析により、**要求仕様書**が作成される

# 要求と、要求仕様の違い

- たとえて言うと・・・
- ケーキ屋さんで「ケーキください!」と要求してもすぐ「ケーキ」は買えない。

なぜ？

どの「ケーキ」がほしいかを特定して伝えてないから

# じゃあ

- イチゴのケーキください!と言えがいい?

イチゴのケーキつつったって

イチゴショート、イチゴタルト、イチゴのモンブラン、  
はてはお誕生日ケーキみたいなホールケーキだってあるかも。

「いちごショートケーキを3個、シュークリームを3個、  
エクレアを3個」

と指定することで、明確に伝わる

# つまり

- 要求→「ケーキを買う」
- 仕様→「売り手（または注文の機械）に、ケーキの種類と、  
個数を伝える（入力する）」

この、**仕様**の部分をまとめていくことになる。

# では具体的に

ユーザからのニーズを可視化

- ・どのようなソフトウェアなのか(概要)
- ・どのような機能が必要で、その機能はどのようなことをするのか？
- ・専門用語が出てくる際には、その用語の説明も必要

この仕様書を読めば

「どのような機能を搭載し」、「どのように動くソフトなのか」  
が分かるようになっていなければならない

# どんなことを書けばいいのか？

少なくともこれは必要

1. 現状のシステムの問題点
2. ソフトウェアの概要
3. ソフトウェア全体の機能構成

# 1. 現状のシステムの問題点

- 現状, 顧客の抱えている問題点は何か？
- その発生源は？
- 要望としてどのような機能を欲しているのか



## 2. ソフトウェアの概要

- 1. に記述した問題点を, どのように解決する機能を持つのか
- また顧客の要望以外の「あって当然の機能」はなにか
- ターゲットユーザがいるならばそれも書く

全体として、どのようなソフトウェアなのかが分かるようにまとめていく

### 3. ソフトウェア全体の機能構成

- 作成する機能をすべて列挙し, それぞれがどのようにつながっているのかを示す
- また, 機能ごとの動きの概要などを示す

# あと章にはしなくて良いけれど

- 改変履歴

だれが、どの項目を、いつ修正した履歴をつける

改変日	内容	担当者
2015/05/25	第2章 xxxの機能の説明を追加	大墨

# もちろん

- 表紙が必要
- 目次もつけてください。